



自主防災組織への啓発

事業概要：訓練の実施について啓発を行なう。

実施主体：豊岡市

市地域防災計画に掲げる「地域の力を蓄える」という観点から、共助としての主役を担っていただく自主防災組織等の育成および強化を図るため、防災資機材の整備に対して補助金（補助率1/2、上限200千円）を交付している。

補助制度を利用するには、購入資機材を活用しての防災訓練を実施していただくことを要件としている。

資機材購入を通じて、地域での防災訓練の実施を促す。

3-5 訓練の実施



そなえる
減災対策

市民総参加訓練の実施

事業概要：全市民を対象とした訓練を平成27年から実施。

実施主体：豊岡市

実施主体：県民

市民が災害発生時にあわてず、的確な避難行動が取れるよう、2015（平成27）年度から8月の最終日曜日を統一訓練日と位置づけ、市民総参加訓練を実施。「地震」と「風水害」を想定した訓練を、交互に実施。

豊岡市の市民総参加訓練（2023年8月27日・日）

訓練1 グラツと揺れたら、まず安全確保

防災行政無線の地震放送を合図に、各家庭において地震の揺れに伴う落下物や飛来物から、頭や身体を守る行動をとります。普段から家の中で、どこが最も安全かを考えておくことが、いざという時の速やかな行動に繋がります。

- ①まず低く 上からの落下物を避けられる場所で低い姿勢をとります。
- ②頭を守り 落下物や飛来物から頭を守れるよう、机の下に避難したり腕で頭を守ります。
- ③動かない 1分間はじっと動かないでいます。

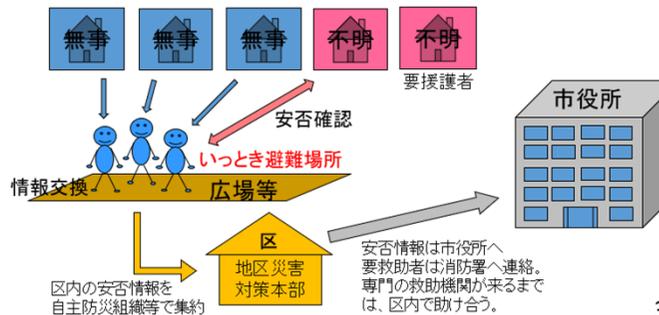
机が揺れて飛ばされないように、しっかりと机の脚を持ち固定する



豊岡市の市民総参加訓練（2023年8月27日・日）

訓練2 揺れが収まったら隣近所の安否確認

揺れが収まり、本人・家族が無事であれば、事前に定めた「いつき避難場所」に集合して隣近所の情報交換を行い、不明者があれば安否確認を行います。それらを区（自主防災組織）が集約し、市役所に安否情報の連絡を入れます。



I 平時に自宅の災害リスクと避難行動を確認しておく

災害の被害を最小限に抑えるため、防災マップと下の避難行動確認フローを参照して、避難・避難を開始するタイミングなどを、あらかじめ家族で確認しておきましょう。防災マップは、市内359の自治会ごとに作成しています。昨年に全戸配布したほか、市ホームページの「防災マップページ」またはウェブ版防災マップで入手してください。

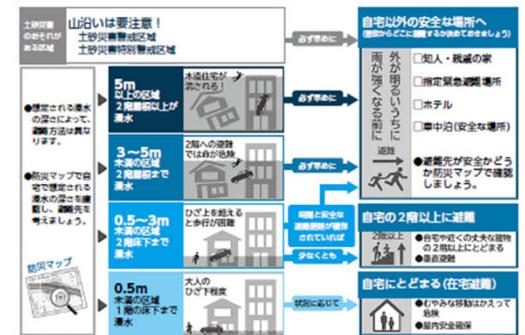
避難行動確認フロー

- 1 防災マップで自分の家の場所を確認し、印を付けましょう。
 - 2 家がある場所に色が塗られていますか？ **いいえ** 風水害による避難の必要性は低いと想定されます。ただし、停電や断水に備え、最低3日間の食料等の備蓄をしておきましょう。
 - 3 ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？ **いいえ** 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？ **いいえ** 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
 - 4 警戒レベル3 高齢者等避難 **いいえ** 警戒レベル3 高齢者等避難 **いいえ** 警戒レベル4 避難指示 **いいえ** 警戒レベル4 避難指示
- 市からの避難情報にかかわらず、雨の降り方から危険を感じたら早めに避難しましょう。高齢者の方、避難に時間を要する方は、早めの避難を心掛けてください。

II 自宅の災害リスクを確認し、事前に避難先を決めておく

避難とは「避」けることです。つまり、災害から命を守る行動です。自宅の災害リスクにより避難行動は異なります。市の指定緊急避難所に行くことだけが避難ではありません。知人や親戚の家、ホテル・車中泊などさまざまな避難先があります。指定緊急避難場所が満席状態になることを防ぐためにも、下の図を参考に、防災マップで想定される自宅の災害リスクを確認し、事前にどこに避難するかを家族で具体的に決めておきましょう。

避難先の考え方



避難に備える マイ避難カード

いつ	どこに	どのように	誰と
警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル3 高齢者等避難
警戒レベル4 避難指示	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル4 避難指示

※本誌に掲載している情報は掲載時点（6月15日）のもので、変更になっている場合がありますので、注視してください。

3-5 訓練の実施



台風23号メモリアル水防訓練の実施

事業概要：豊岡消防団、豊岡地域の自主防災組織、豊岡総合高校生徒、市、国交省、但馬県民局

実施主体：豊岡市

実施主体：国

実施主体：兵庫県

実施主体：県民

円山川において大きな被害が発生した2004（平成16）年の台風23号水害を今一度振り返り、記憶の風化を防ぐとともに、水害による被害を最小限にとどめるため、豊岡消防団と自主防災組織、国・県・市の行政職員（新任職員等）が一体となって地域防災力の向上を目指し、出水期を向かえた6月上旬ごろに実施。

訓練内容

座学

TEC-FORCE説明

保有する災害対策用機械の展示説明

展示車両紹介（対策本部車、排水ポンプ車、

照明車、土のう造成機

土のうの製作方法と積み土のう工法

実技

土のう製作、積み土のう工法の訓練



3-5 訓練の実施



一斉避難訓練の実施

事業概要：全市民を対象とした訓練を実施

実施主体：養父市

市民の防災意識の高揚を図るため、平成24年度から毎年9月の第1日曜日に、市民総参加の養父市一斉避難訓練を実施。

R5伊佐



R5 轟



3-5 訓練の実施



町総合防災訓練の実施

事業概要：町、自主防災組織、消防団、美方広域消防本部、美方警察署、香住アマチュア無線クラブが連携し、町民も参加した訓練を実施

実施主体：香美町
自主防災組織

実施主体：県民

概要：迅速かつ的確な災害応急対策の実現を図るため、また、住民の適切な判断、行動、知識の確保を図るため町内全域で総合防災訓練を年1回実施。

(訓練内容)

避難・避難誘導・避難支援訓練（避難行動要支援者支援を含む。）及び情報収集・情報伝達訓練は必須項目。消火訓練、給食・給水訓練、その他の訓練は各自主防災会の災害想定等に応じて適宜実施。町も災害対策本部設置・運営訓練、避難所開設訓練、現地確認訓練等を実施。



3-5 訓練の実施



町総合防災訓練の実施

事業概要：町、自主防災組織、消防団、美方広域消防本部、警察、社会福祉協議会、ガス協会が連携し、全町民を参加対象とした訓練を実施

実施主体：新温泉町

実施主体：県民



毎年10月に町総合防災訓練を実施。防災訓練では住民に対する避難訓練や関係団体と連携し講演会や展示会、救出訓練など、多岐にわたる内容を実施し、住民に普及・啓発を行う。



自主防災組織における訓練の実施

実施主体：新温泉町

実施主体：県民

自主防災訓練実施地区数

令和5年度	：28地区
令和4年度	：22地区
令和3年度	：24地区
令和2年度	：17地区
令和元年度	：40地区

自主防災訓練参加世帯数・参加者数

令和5年度	：884世帯・1,218人
令和4年度	：703世帯・963人
令和3年度	：774世帯・1,127人
令和2年度	：480世帯・654人
令和元年度	：1,277世帯・1,976人

自主防災訓練を実施した組織に対し、交付金を交付する制度がある。この制度を周知するとともに、自主防災組織で積極的な訓練を実施できるよう機材の貸出や資料の提供。（新温泉町）

3-6 建物等の耐水化

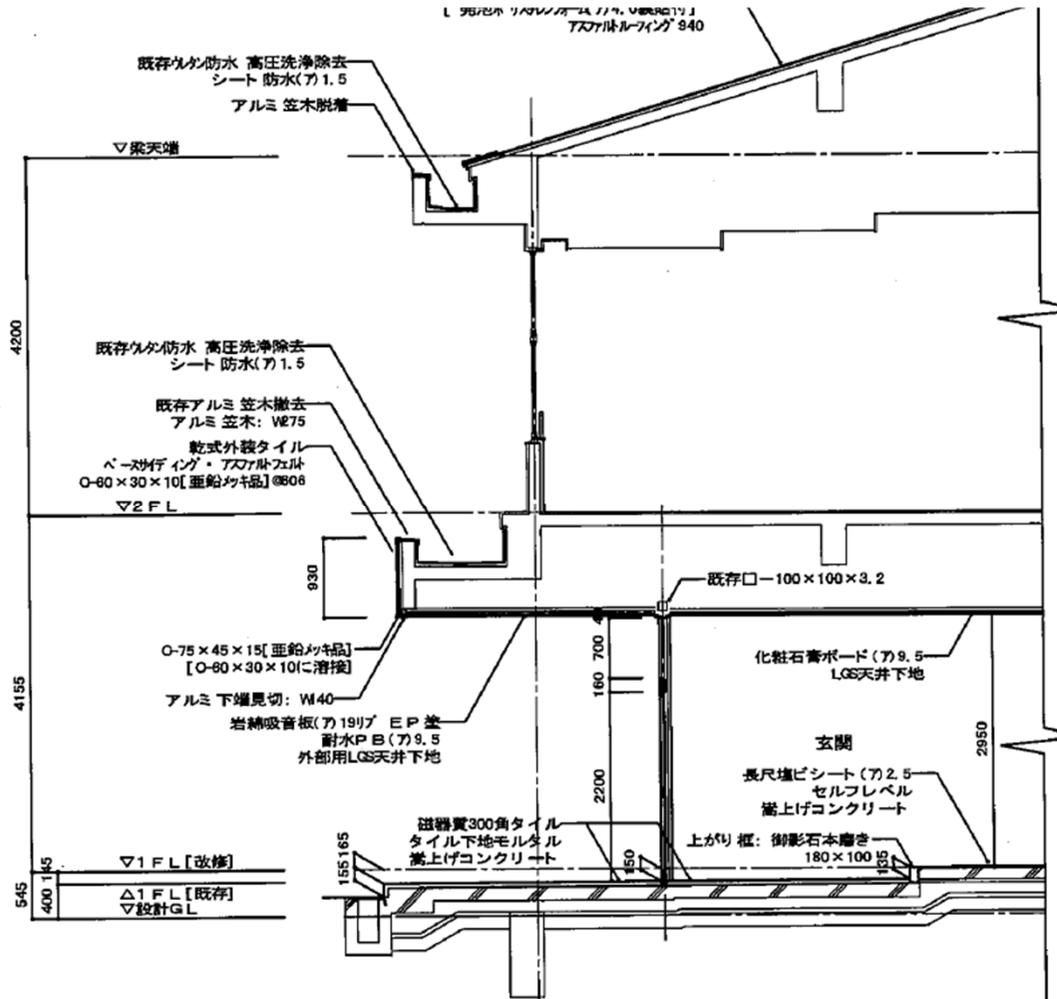


建物等の耐水化

事業概要：香住第一中学校

実施主体：香美町

改築に合わせて建物敷地の嵩上げ
145mm



3-6 建物等の耐水化



建物等の耐水化

事業概要：公立香住病院

実施主体：香美町

改築に合わせて建物敷地の嵩上げ



3-7 浸水による被害からの早期生活再建



そなえる
減災対策

共済制度の加入促進

事業概要：フェニックス共済

実施主体：兵庫県

実施主体：豊岡市

実施主体：養父市

実施主体：朝来市

実施主体：香美町

実施主体：新温泉町



自然災害で被災した住まいの建築・購入・補修に備える

1

地震・津波・豪雨・台風・地すべり・洪水など、あらゆる自然災害による被害が対象です。



2

住宅の築年数・規模・構造等に関係なく、定額負担で定額給付です。



3

地震保険・他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

フェニックス共済



地震保険・他の共済

住宅をお持ちの方の

住宅再建共済

損害割合 20%以上

年額 **5,000** 円で
再建・補修時等に

最大 **600** 万円給付!

加入対象者 県内に戸建て、分譲マンション、賃貸住宅をお持ちの方

対象住宅 県内にある住宅 (1つの住宅に1契約)

準半壊特約

損害割合 10%以上 20%未満

年額 **500** 円で
補修時等に

25 万円給付!

加入対象者 住宅再建共済にご加入の方

損害割合10%未満[準半壊に至らない(一部損壊)]は給付対象外です

プラス

概要：阪神・淡路大震災での経験・教訓を踏まえ、災害後の速やかな住宅再建を支援するため、小さな負担で（年額5000円）で大きな安心（最大600万円）を確保できる「兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）」を創設。

但馬加入率：14.5%（R6.3月現在）

3-7 浸水による被害からの早期生活再建



応援体制の確立

事業概要：市・町と民間事業者等との間での災害時応援協定等の締結

実施主体：豊岡市

災害時の応急業務の中には、自治体に専門性のない業務や民間組織に任せた方が迅速性・効率面で良い業務がある。その対応に適した民間企業等からの協力を得るために、引き続き、必要な災害時応援協定の締結を進める。（豊岡市）

実施主体：養父市

R3年度 Qねっと関西と締結



実施主体：香美町



町内におけるR5台風7号の甚大な被害を踏まえ、引き続き協定締結の促進を図る。



3-7 浸水による被害からの早期生活再建



応援体制の確立

事業概要：町と民間事業者等との間での災害時応援協定等の締結

実施主体：新温泉町

現在協定締結数：40

災害時における宿泊施設の提供等に関する協定	食材、食事、入浴施設、要配慮者等に対する宿泊施設の提供等	R2. 8. 26	浜板観光協会
災害時における宿泊施設の提供等に関する協定	食材、食事、入浴施設、要配慮者等に対する宿泊施設の提供等	R2. 8. 26	湯村温泉観光協会
災害時における地図製品等の供給等に関する協定	災害時における地図製品等の供給等	R2. 9. 29	株式会社ゼンリン
自然災害等の避難所に関する協定	浜板漁業協同組合諸寄支所を避難所で使用	R3. 3. 16	浜板漁業協同組合
自然災害等の避難所に関する協定	龍満寺を避難所で使用	R3. 3. 16	龍満寺
災害時における一時避難所としての使用に関する協定	上島プロパンリフォームプラザを一時避難所として使用	R3. 3. 25	上島プロパン株式会社
災害時における物資供給に関する協定	災害時における物資の供給	R3. 4. 1	株式会社ナフコ
新温泉町と大塚製菓株式会社との包括連携に関する協定	災害時における物資提供等	R3. 10. 5	大塚製菓株式会社
災害に係る情報発信等に関する協定	災害時の情報発信支援等	R3. 12. 23	ヤフー株式会社

災害時における廃棄物処理に関する応援協定	廃棄物(し尿、浄化槽汚泥、管路にたまった土砂等)の撤去等	H26. 12. 4	兵庫県環境事業商工組合
災害時相互応援に関する基本協定	災害時における被災者救護を実施するための応援	H27. 11. 30	小浜市
災害時における応援対策業務に関する協定	災害時における車両及び労力の提供	H27. 12. 1	新温泉自動車整備組合
災害時における物資供給に関する応援協定	災害時における物資の供給	H27. 12. 25	NPO法人 コメリ災害対策センター
災害時における救助用物資の供給に関する応援協定	災害時における救助用物資の供給	H28. 1. 19	ゴダイ株式会社
大規模災害時における被災者支援協力に関する協定	災害時における被災者支援のため、行政書士業務を提供	H28. 7. 12	兵庫県行政書士会
災害時等におけるバス利用に関する協定	災害時における所有バスの利用の提供	H28. 10. 12	全但バス株式会社
災害時における畳の提供等に関する協定	災害時における避難所等に対して畳の提供	H29. 3. 6	5日で5000枚の約束プロジェクト実行委員会

新温泉町では、災害時の物資の供給や提供、一時避難所としての施設の使用など、多岐にわたる内容で民間業者との災害時応援協定等を締結。

4 環境の保全と創造への配慮

環境へ配慮した取り組み

事業概要：湿地再生（大規模湿地）

実施主体：国

円山川（加陽地区）

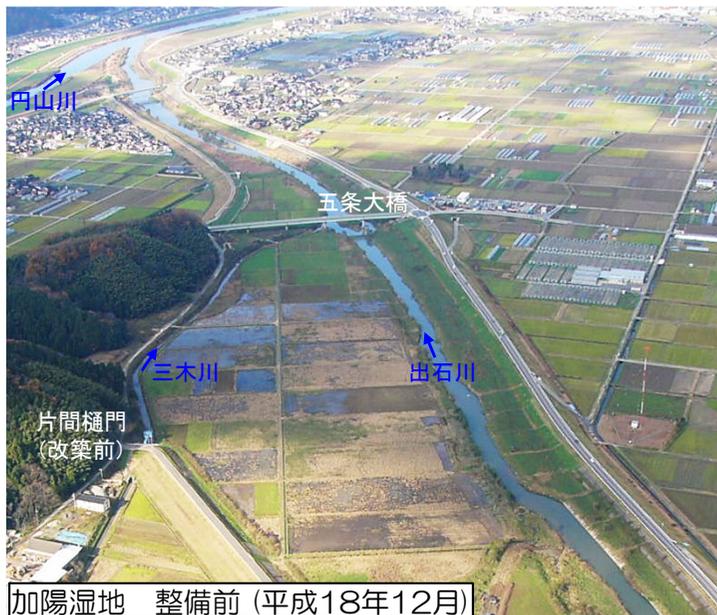
実施内容 (計画値)	進捗状況(達成度)			
	H25時点	H27時点	H28時点	H29時点
湿地化面積 A=7.2ha	整備済3.3ha (進捗率46%)	整備済6.6ha (進捗率92%)	整備済6.6ha (進捗率92%)	整備済7.2ha (進捗率100%)



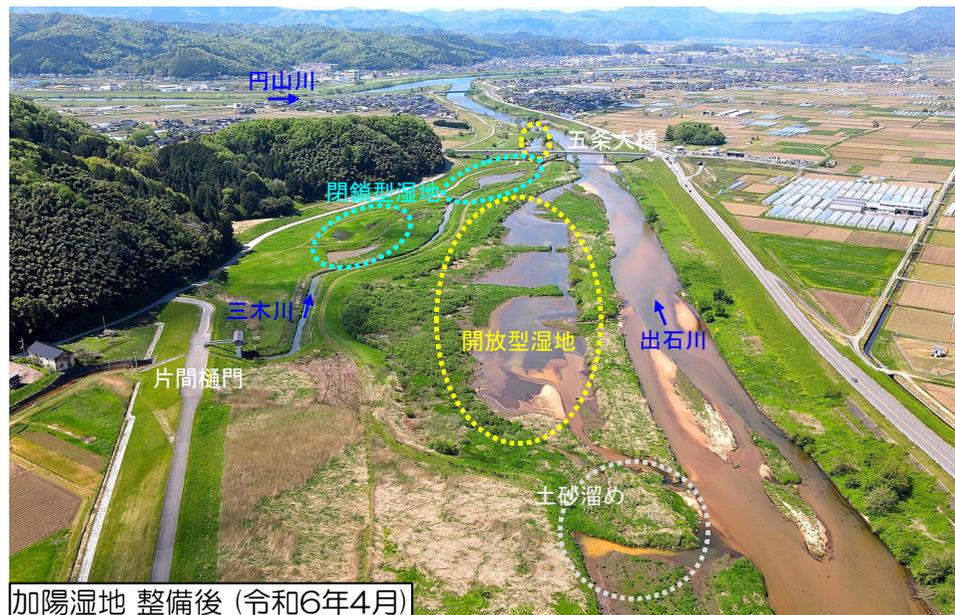
【加陽湿地】

計画湿地面積 7.2ha → 整備完了（平成29年度）

- 魚類、底生動物等の生息・再生産の場として出石川と接続する開放型湿地や鳥類の餌場として機能するよう水田に近い環境を復元しつつ、山裾との連続性を確保した閉鎖型湿地を整備することで湿地再生を実施。
- 平成29年度の完成後においては、継続してモニタリング調査に基づく評価、湿地全体の順応的な維持管理を実施中。



加陽湿地 整備前（平成18年12月）



加陽湿地 整備後（令和6年4月）